解　説

第 ６ 章　　　製造業

(注)事業所数及び従業者数は令和3年6月1日現在、製造品出荷額等は令和2年1月～令和2年12月の1年間の数値です。

　　事業所数、従業者数および製造品出荷額等に個人経営は含まれません。

事業所数、従業者数、製造品出荷額等

事業所数、従業者数、製造品出荷額等はともに全国2位

令和3年経済センサス‐活動調査　産業別集計（製造業）によると、事業所数は1万4,412事業所(全国に占める割合8.1％、2位）、従業者数は41万7,816人(同5.6％、2位)、製造品出荷額等は16兆9,758億円(同5.6％、2位)です。

また産業別構成比上位3産業は下表のとおりで、事業所数の上位3産業は平成22年以降変動がありません。

産業中分類別構成比上位3産業

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １位 | ２位 | ３位 |
| 事　業　所　数 | 金属製品20.4％ (2,945事業所) | 生産用機械11.6％ (1,667事業所) | プラスチック製品8.1％ (1,165事業所) |
| 従　業　者　数 | 金属製品13.6％ (5万6,760人) | 生産用機械11.5％ (4万8,113人) | 食料品11.5％ (4万7,857人) |
| 製造品出荷額等 | 輸送用機械13.1％ (2兆2,291億円) | 生産用機械10.7％ (1兆8,139億円) | 化学9.7％（1兆6,442億円） |

[第6章3表より]

地域別の事業所数は、大阪市地域(4,989事業所、構成比34.6％)が最も多く、次いで中河内地域(3,176事業所、同22.0％)、泉北地域(1,722事業所、同11.9％)となっています。

前回に比べ、豊能地域(100事業所、同16.0％)、泉南地域(130事業所、14.2％)、中河内地域(483事業所、13.2％)、等全地域で減少しました。



 地域別事業所数、前回比(従業者数４人以上)



（％）

（事業所数）

[第6章1表より]

地域別の製造品出荷額等は、泉北地域(4兆2,424億円、構成比25.0％)が最も多く、次いで大阪市地域(3兆5,315億円、同20.8％)、北河内地域(2兆1,814億円、同12.9％)となっています。

前回に比べ、豊能地域(9,894億円、110.0％）、北河内地域(4,045億円、22.8％）、三島地域（417億円、2.9％）の3地域で増加し、泉南地域(1,494億円、15.2％)、泉北地域(6,605億円、13.5％)、中河内地域(1,455億円、6.3％)、南河内地域(349億円、5.2％) 、大阪市地域(1,555億円、4.2％)の5地域で減少しました。

 地域別製造品出荷額等、前回比(従業者数４人以上)

[第6章1表より]

工業生産活動(工業指数)

生産指数・出荷指数は2年ぶり低下、在庫指数は3年ぶり上昇

　令和4年の大阪府工業指数は、生産指数は92.5で、前年に比べ7.0%低下し、業種別(寄与度順。以下同じ。)では「電気・情報通信機械工業」、「電子部品・デバイス工業」等11業種が低下しました。

出荷指数は91.0で、前年に比べ5.4%低下し、業種別では「電気・情報通信機械工業」、「輸送機械工業」等9業種が低下しました。

在庫指数は103.6で、前年に比べ10.7%上昇し、業種別では「電気・情報通信機械工業」、「鉄鋼・非鉄金属工業」等9業種が上昇しました。

※大阪府工業指数は、製造業の毎月の生産活動の水準及び動向の推移を観察するため、基準年(平成27年)平均値を100とした指数です。



 大阪府工業指数(原指数)

[第6章4、5、6表より]

[第6章1表より]